

## 令和3年第18回公安委員会会議録

日 時	7月8日（木曜日） 自午後 1時30分 至午後 4時40分	場 所	公安委員会室
会 議	公安委員	下山委員長 高木委員 山本委員 小野委員 廣塚委員	
出席者	警察職員	本部長 警務部長 生活安全部長 刑事部長 交通部長 警備部長 情報通信部長	

### 第1 聴聞等についての決裁

運転免許課長から、聴聞9件、意見の聴取24件について説明があり、決裁が行われた。

### 第2 定例会議

#### 1 令和3年6月熊本県議会定例会の結果について

- (1) 会期  
令和3年6月14日（月）から7月5日（月）までの22日間
  - ア 一般質問  
6月18日（金）から6月23日（水）までの間
  - イ 教育警察常任委員会  
6月29日（火）
- (2) 警察関係提出議案
  - ア 監察課  
専決処分の報告について（2件の交通事故の和解及び損害賠償額の決定）
  - イ 会計課
    - ア 令和3年度熊本県一般会計補正予算
    - イ 令和2年度熊本県一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について
- (3) 警察関係質問
  - ア 一般質問
    - ア 東京2020オリンピック・パラリンピックの警備に派遣される警察官のワクチン接種について
    - イ 持続化給付金詐欺について
    - ウ 料理宅配サービスの交通マナー・ルールについて
  - イ 教育警察常任委員会
    - ア 警察活動感染症対策事業費について
    - イ 第4回アジア・太平洋水サミットについて

#### 【委員からの質問等】

委員から、「オリンピックに派遣される警察官以外の警察官のワクチン接種については、職域接種と居住地域の自治体での接種があり、居住地で接種時期に差が出てくるが、調整して早めに打てるようにしてもらいたい」旨の発言があった。

#### 2 「女性活躍と次世代育成支援のためのアクションプラン（前期）」の主な取組状況について

警務部長から、別添のとおり報告があった。

#### 【委員からの質問等】

委員から、「女性警察官を増やしていく中で、途中退職をされる方もいると思う

が、なるべく皆さん働き続けていけるような職場環境づくりをしてもらいたい」旨の発言があり、警察側から「色々な事情を抱えている職員が働きやすい職場になるよう育児休業などの両立支援制度に取り組んでいる」旨の説明があった。

また、別の委員から「このアクションプランに対し職員の意識がどうなっているのか」との質問があり、警察側から「意識調査を実施した結果、良くなってきたとの反応が多かった」旨の説明があった。

### 3 総合対処法訓練指導者講習の実施結果について

#### (1) 概要

警察官が現場活動において受傷することなく犯人等を制圧、逮捕するなどの総合的な事態対処能力を向上させるため、全警察署及び本部執行隊の総合対処法訓練指導者に対して訓練方法、要領等を講習し、所属における訓練の充実・向上を図った。

#### (2) 実施状況

##### ア 日時

令和3年6月4日（金）から6月18日（金）までの間

##### イ 場所

警察学校柔道場他5警察署道場

##### ウ 実施者

(ア) 教養課術科・体育指導室首席師範及び師範

(イ) 教養課術科・体育指導室指導官（柔道、剣道、逮捕術、拳銃特別訓練部監督）

##### エ 対象所属

(ア) 23警察署（熊本市内4警察署各2人、他警察署各1人）

(イ) 本部執行隊（機動捜査隊、交通機動隊、高速道路交通警察隊、機動隊各1人）

##### オ 指導内容

(ア) 基礎訓練

(イ) 想定訓練

#### (3) 効果・反響

ア 指導者としての立場や役割が理解でき、技術のポイントや指導の流れを確認することができたので所属の訓練で還元したい。

イ 凶器使用の犯人と対峙したときの具体的な対処技能を身に付けることができた。

ウ 本部の首席師範等から直接指導を受けられたことに感謝している。

#### 【委員からの質問等】

委員から、「どのような人物が訓練指導者になるのか」旨の質問があり、「柔道・剣道、逮捕術及び拳銃の特別訓練部員経験者等が各署から推薦されて選ばれる」旨の説明があった。また、別の委員から「女性に対しても男性の指導者が指導するのか」旨の質問があり、警察側から「指導者は男性が多いが、各所属の女性指導者についても育成しているところである」旨の説明があった。

### 4 日本郵便株式会社法違反事件被疑者の逮捕について

刑事部長から、日本郵便株式会社法違反事件の検挙について報告がなされた。

#### 【委員からの質問等】

委員から、事件の経緯等について質問があり、警察側から説明がなされた。

### 5 交通安全宣言決議を踏まえた広報・啓発活動について

#### (1) 概要

本年3月に県議会で可決された「熊本県の交通安全水準のさらなる向上に関する宣言決議」を踏まえ、交通企画課及び高速道路交通警察隊が「歩行者保護啓発ステッカー」、「シートベルト全席着用啓発マグネットシート」をそれぞれ製作し、交通企画課では啓発ステッカーを付けた『歩行者保護宣言カー』（止まるモ

ン) 出発式を開催するなど、交通事故抑止に向けた広報・啓発活動を行っているもの。

(2) 『歩行者保護宣言カー』(止まるモン)【交通企画課】

ア 出発式

- 開催日  
令和3年7月2日(金)午前10時から
- 出席者(協賛団体)  
熊本県交通安全協会・熊本県安全運転管理者等協議会・熊本県トラック協会
- 行事内容
  - ・ 熊本県安全運転管理者等協議会長による歩行者保護宣言
  - ・ 熊本県トラック協会長と交通部長によるステッカー貼り付け
  - ・ くまモンによる「てまえ運動」実演
  - ・ 熊本県交通安全協会長による出発合図
  - ・ 『歩行者保護宣言カー』(止まるモン)5台が街頭出発

イ 「歩行者保護啓発ステッカー」

- 約4,000枚製作
- 配布先(協力事業者)  
県内のバス・タクシー事業所、トラック協会加盟事業所、安全運転管理者等協議会加盟事業所等

ウ 報道状況

【テレビ】7/2 RKK 【新聞】7/3 熊日 【ラジオ】7/2 RKK



歩行者保護啓発ステッカー

縦12センチ×横38センチ  
縦10センチ×横30センチ

(3) 「シートベルト全席着用」啓発用マグネットシート【高速道路交通警察隊】

ア 掲示日・場所

令和3年6月16日(水)から  
九州縦貫自動車、九州横断自動車道延岡線及び南九州西回り自動車道の熊本  
県内各インターチェンジ入口ゲート等12か所

イ マグネットシート

約60枚製作

ウ 協賛団体

熊本県高速道路交通安全協議会  
西日本高速道路株式会社九州支社(NEXCO西日本)熊本事務所

エ 報道状況

【テレビ】6/16 NHK 【新聞】6/17 熊日



啓発用マグネットシート

縦100センチ×横30センチ

縦100センチ×横20センチ

### 【委員からの質問等】

委員から、「車を運転中にはラジオを聞く人も多いので、頭に残るようなフレーズをラジオで集中的に流してはどうか」旨の発言があり、「ラジオについては、今回のキャンペーンも協力いただいている。今後も、認知度を上げるため広報活動を進めていく」旨の説明があった。また、別の委員から「歩行者保護啓発ステッカーを、誰でも手に入るよう警察署の窓口に置けないのか」旨の質問があり、警察側から「予算の都合があり数に限度があるので、現状は、車両の通行量が多い協力事業者に配布している」旨の説明があった。

### 第3 報告・決裁等

- 1 熊本ドライビングスクールに対する準中型免許の指定についての決裁  
運転免許課長から説明があり、決裁が行われた。
- 2 令和3年度留置施設に対する実地監査計画についての決裁  
首席監察官から説明があり、決裁が行われた。
- 3 苦情(R3No.6・No.7)の調査結果についての決裁  
刑事企画課長から説明があり、決裁が行われた。
- 4 苦情(R3No.5)の調査結果についての決裁  
通信指令課長から説明があり、決裁が行われた。
- 5 令和3年第17回公安委員会会議録の決裁  
公安委員会事務室から説明があり、決裁が行われた。
- 6 公安委員会が管理する令和2年分「行政文書ファイル管理簿」の調製及び公表の決裁  
公安委員会事務室から説明があり、決裁が行われた。
- 7 苦情(R3No.8)受理の報告  
公安委員会事務室から報告が行われた。



# 「女性活躍と次世代育成支援のためのアクションプラン（前期）」の主な取組状況（令和2年度）

**数値目標**

- 全警察官に占める女性警察官の割合を9%へ引上げ（令和3年（2021年）4月1日までに）
- 職員一人当たり年次有給休暇15日以上、夏季休暇5日を取得（令和2年（2020年）中）

### 1 積極的な女性の採用・登用

(1) 女性警察官の増員  
計画的な採用により数値目標を達成  
★ 全警察官に占める女性警察官の割合（各年度4月1日時点）

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
7.2%	7.8%	8.3%	8.9%	9.4%

※ 割合の求め方＝女性警察官数÷（条約定数＋育児休業者数）

(2) 効果的な採用募集活動の実施  
職員募集パンフレット、県警ホームページ等において女性職員の活躍等を発信

- ・ 県警公式ツイッターにより、日々の女性警察官の仕事内容について発信（交通企画課）
- ・ 地元のケーブルテレビやラジオにおいて、警察職員採用試験や女性職員の仕事内容について発信（高森警察署、天草警察署）

### 3 育児や介護をしながら活躍できる職場環境の整備

(1) 両立支援のための取組

- 統合OA端末起動時のログオン・メッセージを活用し、両立支援制度を周知
- 早出遅出勤務に係る勤務パターンを追加

(2) 男性職員の家庭生活への関わりへの促進

- 子供が生まれる予定の男性職員及びその上司に対し、男性職員が取得可能な休暇等を教示し、積極的な取得を促進

(3) 妊娠・出産から職場復帰までの各段階における支援  
育児休業から復職する職員に対する研修を実施

育児休業中の職員への定期的な連絡、復職前における直属の上司との面談等を実施（各所属）

### 2 女性が活躍するための職場づくり

(1) 女性職員のキャリア形成支援

- 女性職員（両立支援制度対象職員）を対象とした「女性警察職員チャレンジサポート制度」を導入するなど、女性職員に対する教養環境の充実
- 交番、駐在所等において、女性指導員による、女性職員のための受傷事故防止及び現場執行力の強化に向けた訓練を実施

(2) 女性職員が働きやすい施設及び装備資機材の整備  
警察施設における女性用施設の整備

(3) 女性職員の不安や悩み等に対処するための取組の推進  
ピアサポート制度の周知徹底を図り、不安や悩みを抱える職員に対して助言を行うとともに、必要に応じて部外の専門家が相談に対応

(4) 女性の視点を反映した施策の推進

- 警察本部の施策立案担当係に女性職員を配置
- 女性職員と幹部職員との意見交換会を行い、女性職員の意見を聴取

(5) 職員の意識改革の推進

- ハラスメント防止等に係る教養の実施
- 匿名性の高い電子相談システムを構築し、相談しやすい環境を整備

### 4 働き方の改革

(1) ワークライフバランスの推進

- 総労働時間の縮減に向けた勤務体制の見直しを実施（警察署当番の導入）
- 窓口業務における受付時間を短縮

(2) 業務の合理化・効率化の推進

- 業務管理システムの整備により決裁の電子化、ペーパーレス化等を推進
- 勤務時間の管理に係るマニュアルを作成

(3) 休暇の取得促進及び超過勤務の縮減

- 休暇取得状況及び時間外勤務状況見える化  
★ 年次有給休暇及び夏季休暇の取得状況

	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年度	令和2年度
年休平均取得日数	9.9日	11.1日	11.7日	11.3日	12.1日
夏季休暇平均取得日数	4.74日	4.78日	4.88日	4.93日	4.98日

各所属ごとの年次有給休暇・夏季休暇の取得状況及び時間外勤務の状況をフィードバック（総務課）

(4) 多様な働き方の推進  
早出遅出勤務に係る勤務パターンを追加（再掲）

(5) 人事評価への反映  
ワークライフバランスの推進に資する職員提案に対して表彰を実施